

広島市感染症週報

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

コメント

1 インフルエンザ

定点当たり20.71人の報告がありました。前週から増加に転じており、注意が必要です。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は39件の報告があり、冬休み明け以降再び増加しています。引き続き、手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。(次ページ参照)

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
第5週 A型:28人、B型:78人

2 感染性胃腸炎

定点当たり11.19人と、増加が続いています。また、ノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生の報告が第5週に1件ありました。ノロウイルスは、感染者の便や吐物に多く含まれ、飛沫や人の手などを介して経口感染します。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理など、感染予防対策を徹底しましょう。

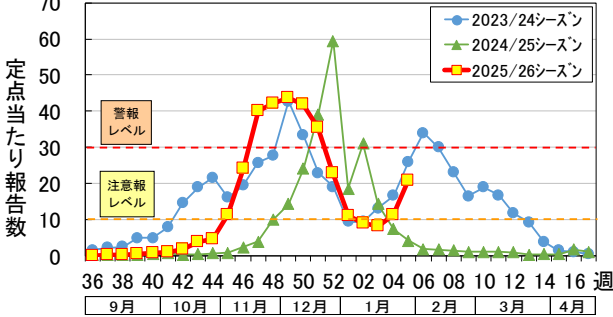
3 RSウイルス感染症

定点当たり0.81人の報告があり、増加傾向です。

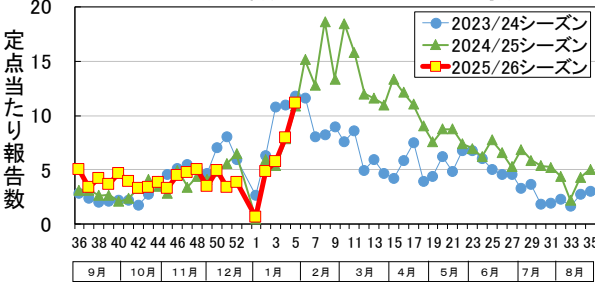
■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)間	発生記号
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	2872	84.47			小児科	突発性発しん	2	0.10	0.21	
	インフルエンザ	704	20.71	8.78			ヘルパンギーナ	-	-	0.09	
	新型コロナウイルス(COVID-19)	15	0.44				流行性耳下腺炎	2	0.10	0.02	
小児科	RSウイルス感染症	17	0.81	0.31		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	8	0.38	0.68			流行性角結膜炎	5	0.63	0.75	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	39	1.86	1.39		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	235	11.19	8.30			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	7	0.33	0.15			マイコプラズマ肺炎	1	0.17	0.25	
	手足口病	-	-	0.26			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	2	0.10	0.03			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.06	

インフルエンザの流行状況(広島市)



感染性胃腸炎の流行状況(広島市)



急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI) 定点数(内科・小児科)	34
小児科定点数	21
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	5	10歳代、80歳代
5	アメーバ赤痢	1	1	50歳代
5	後天性免疫不全症候群	1	1	10歳代・感染者
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	2	90歳代
5	梅毒	4	7	20歳代・1人、50歳代・2人、60歳代・1人
5	百日咳	3	7	20歳代・2人、40歳代・1人

